

再評価結果(令和7年度事業継続箇所)

担 当 課:道路局 国道・技術課

担当課長名:西川 昌宏

事業名	一般国道49号 北好間改良		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局	
起終点	自:福島県いわき市好間町北好間字清水 至:福島県いわき市好間町北好間字猪ノ鼻				延長	2.2km	
事業概要							
<p>一般国道49号は、福島県いわき市から新潟県新潟市に至る延長約248kmの主要幹線道路である。 北好間改良は、福島県いわき市好間町北好間字清水から福島県いわき市好間町北好間字猪ノ鼻に至る延長2.2kmの2車線道路である。</p>							
H23年度事業化		—		H25年度用地着手		H30年度工事着手	
全体事業費	約90億円		事業進捗率 (令和6年3月末時点)	約60%	供用済延長	—km	
計画交通量	11,000台/日						
費用対効果分析	B/C (事業全体)	EIRR (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体) 53/92億円		総便益 (残事業)/(事業全体) 102/102億円		基準年
	1.1		(事業費:44/82億円 維持管理費:9.4/9.4億円 更新費:—/—億円)		(走行時間短縮便益:98/98億円 走行経費減少便益:3.1/3.1億円 交通事故減少便益:0.71/0.71億円)		令和6年
	参考 1.6 [2%] 2.0 [1%]	4.6%					
	(残事業)	(残事業)	感度分析 (事業全体)		感度分析 (残事業)		
	1.9		交通量	B/C=1.1~1.2(±10%)	交通量	B/C=1.8~2.0(±10%)	
参考 2.6 [2%] 3.1 [1%]	9.1%	事業費	B/C=1.1~1.2(±10%)	事業費	B/C=1.8~2.1(±10%)		
		事業期間	B/C=1.03~1.2(±20%)	事業期間	B/C=1.8~2.0(±20%)		
事業の効果等							
①円滑なモビリティの確保 ・現道等の年間渋滞損失時間及び削減率 (渋滞損失時間:8.1万人・時間/年、渋滞損失削減率:約7割削減) ②都市の再生 ・広域道路整備基本計画に位置付けのある環状道路を形成 (広域道路整備計画(福島県)において広域道路(地域形成型)の位置づけあり) ③災害への備え ・福島県防災会議により福島県地域防災計画における緊急輸送道路一次確保路線に位置づけ 他9項目に該当							
関係する地方公共団体等の意見							
○福島県知事の意見 国の対応方針(原案)については、異議ありません。 なお、本県の地方創生を支援するため、コスト縮減を図りながら、早期完成に努めてください。 ○以下の団体等から、北好間改良の整備促進について要望あり ・一般国道6号・49号いわき地区改築工事促進期成同盟会、福島県浜通り地区国道協議会							
事業評価監視委員会の意見							
・対応方針(原案)の事業継続は妥当である。							

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等
 ・この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。

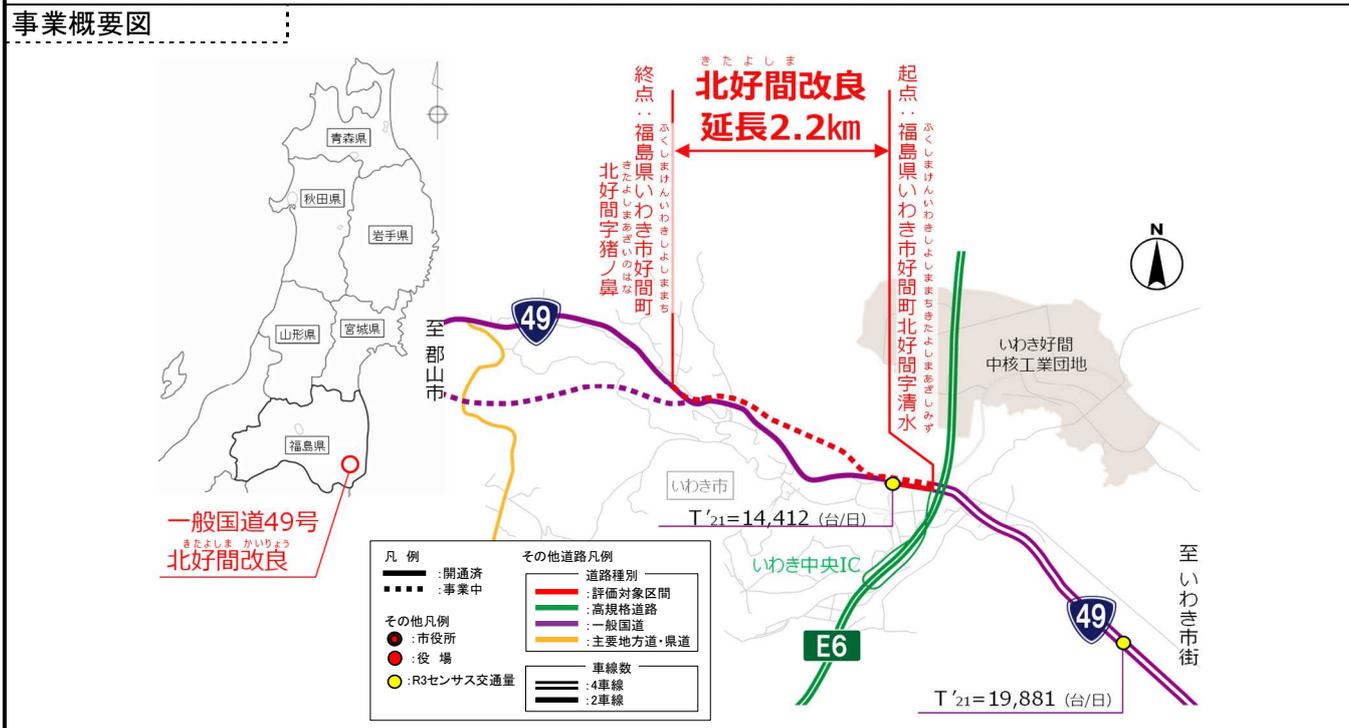
事業の進捗状況、残事業の内容等
 ・平成23年度新規事業化、用地進捗率約87%、事業進捗率約60% (令和6年3月末時点)

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等
 ・事業進捗に係る問題はない。

施設の構造や工法の変更等
 ・法面工の見直しによるコスト縮減を図っている。

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由
 混雑緩和、事故減少、救急医療支援のため、早期整備の必要性が高い。



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。(〔 〕内は社会的割引率の値)